

ビワ生育情報

千葉県
平成23年2月号

平成23年1月の気象

平成23年1月の半旬別気象は表1に示した。平均気温は全ての半旬で平年を下回り、中でも第3半旬は平年より2.0℃低かった。月平均気温は5.0℃で、平年より1.2℃低く、前年より1.6℃低かった。また、全ての半旬で氷点下を記録した。氷点下日数の月合計は17日で、平年より7.4日、前年より7日多かった。

最低極温は第5半旬を除く5半旬で平年を下回った。幼果が寒害を受ける-3℃以下を記録した日数は4日あり、平年に比べて寒害を受ける果実が多くなると考えられる。1月31日には-4.0℃を記録し、この冬一番の冷え込みであった。

降水量は全ての半旬で平年を下回り、第6半旬を除く5半旬では降雨がなかった。月合計は1mmで、平年より78mm(99%)、前年より33mm(97%)少なかった。

日照時間は全ての半旬で平年と同じか上回った。月合計は220時間で、平年より51時間(30%)、前年より71時間(48%)多かった。

表1 平成23年1月の気象(館山測候所)

半旬	気温(℃)			氷点下日数(日)			最低極温(℃)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	5.4	6.9	6.8	3	1.1	0	-1.7	-0.4	0.5
2	6.2	6.6	5.1	2	1.5	3	-2.8	-0.9	-0.7
3	4.2	6.2	4.5	3	1.7	2	-3.5	-1.4	-1.9
4	5.1	6.1	6.1	2	1.6	3	-1.7	-1.1	-1.8
5	5.1	5.9	8.2	2	1.8	1	-1.0	-2.2	-0.2
6	4.1	5.8	8.3	5	2.1	1	-4.0	-2.0	1.0
平均/計/最低値	5.0	6.2	6.6	17	9.6	10	-4.0	-3.4*	-1.9

※：1月の過去37年間の最低極温の平均

表1 (つづき)

半旬	降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	0	13	13	32	27	26
2	0	14	2	40	27	29
3	0	14	12	27	27	19
4	0	13	0	38	27	24
5	0	12	1	36	27	20
6	1	13	7	47	34	31
合計	1	79	34	220	169	149

3月の作業(花房の発育は次ページ)

ビワは厳寒期を過ぎて春が近づくと、枝葉の伸長が始まり、果実の肥大が急速に進む。

しかし、春先は夜間に冷え込むことがあり、3月中旬までは寒波の襲来に注意が必要である。3月になると台木の芽が動き始めるので、接ぎ木は3月中に行う。また、摘果や袋掛けは寒波の襲来がなくなった頃から始める。

摘果・袋掛け

3月以降の寒波の襲来がなくなる頃を見計らって、寒害を受けにくい園から摘果・袋掛けの作業を始める。

標準的な着果程度は1果当たり20枚の葉が必要である。摘房が十分でない樹は最終的な着花房率が60%になるように摘房する。1果房に残す果数は1～3果で、着果房数が多い樹では1果房に1～2果残すが、着花房数が少ない樹では収量を確保するために多めに着果させる。しかし、3果以上着果させると果実が小さくなる。

接木

接木の適期は、台木の芽が動き始める2月下旬～3月中旬であり、天気安定した時期を選んで行う。気温の低い日に作業すると、接木した苗の活着率が低下する。4月に入ると切り口から樹液の溢出が多くなり、接ぎにくくなるので、3月中に終わらせる。台木は接木部の直径が1.5cm以上のものを用いる。太いものほど活着後の生育はいいが、あまり太いものは取り扱いに不便である。

樹及び花房の発育

ビワの開花期は表2に示した。暖地園芸研究所の開花始期（1花房内の蕾の10%が開花）は、「楠」は11月7日で、平年より2日、前年より1日早かった。「大房」の開花始期は12月14日で、平年より19日、前年より24日遅かった。「田中」は11月19日で、平年より6日、前年より8日遅かった。

開花盛期（1花房内の蕾の50%が開花）は、「楠」は11月28日で、平年より1日早かったが、前年より6日遅かった。「大房」は12月30日で、平年より7日、前年より3日遅かった。「田中」は12月7日で、平年より1日早かったが、前年より8日遅かった。

開花終期（1花房内の蕾の90%が開花）は、「楠」は12月16日で、平年より15日、前年より2日早かった。「大房」は2月2日で、平年より1日遅く、前年より14日早かった。「田中」は12月25日で、平年より22日、前年より27日早かった。

本年産の特徴として、開花始期から開花終期までの期間は3品種共に平年より短かった。

なお、花房の出蕾は3品種共に平年より早かった。1月に数日寒波があり、花房に凍害が見られるが、樹の生育は良好である。

表2 ビワの開花期（暖地園芸研究所）

品 種	開花始期(月.日)			開花盛期(月.日)			開花終期(月.日)		
	本 年	平 年	前 年	本 年	平 年	前 年	本 年	平 年	前 年
楠	11. 7	11. 9	11. 8	11.28	11.29	11.23	12.16	12.31	12.18
大 房	12.14	11.25	11.20	12.30	12.23	12.27	2. 2	2. 1	2.16
田 中	11.19	11.13	11.11	12. 7	12. 8	11.29	12.25	1.16	1.21

平年：1982年（昭和57年）～2009年（平成21年）の28年間の平均

【問合せ先：千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 果樹・環境研究室 電話0470-22-2961】
※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生産技術に関する情報」でもご覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/nousui/nourinsuisan/nourinsuisan.html>